

事業承継について考えてみませんか

事業承継は、後継者の育成も含めると、5年から10年かかると言われており、早期かつ計画的な取組が必要です。しかしながら取組を先送りしたため、後継者を確保できず事業としては存続できるにも関わらず、やむなく廃業となるケースが多くあります。

具体的には、各分野の専門家に進めていくには、1つひとつ解決していくこととなります。まずは、取引金融機関や地域の商工会・商工会議所、または顧問税理士に相談することをお勧めします。

また、事業承継に関する公的な相談窓口として、高知県事業引継ぎ支援センターでも相談を受け付けています。

○事業承継の相談窓口

高知県事業引継ぎ支援センター

☎088-802-6002

http://www.cciweb.or.jp/kochi/hikisugi

mailto:kochi-center@theia.ocn.ne.jp

○記事に関するお問い合わせ

高知県商工労働部商工政策課事業推進担当

☎088-823-9692

✉151401@ken.pref.kochi.lg.jp

第31回横浜解放まつり

「解放運動の熱と光を未来へ」をテーマに第31回横浜解放まつりを開催します。

この催しは、同和問題やあらゆる差別の解消をめざし、誰もが幸せに暮らせる社会の実現を願って開催するもので今年12月に実施します。多くの皆さんの来場をお待ちしています。

◆日時 12月14日(土)午前9時

◆場所 佐賀町民館

【午前の部】

佐賀中学校吹奏楽部演奏、人権作文発表、コーラス、佐賀保育所園児発表

【午後の部】

記念講演 講師 宮内則人さん  
一人芝居「明日へ」(結婚差別)

和太鼓演奏、佐賀中学校2年生発表、解放子ども会発表、餅・お菓子投げ

作品展示(午前9時)

◆場所 旧横浜保育所ホール

佐賀地域保育所園児、小中学生の人権に関する絵や習字、標語など

出店(正午)

◆場所 佐賀老人憩の家前広場

うどん、焼き鳥、から揚げ、カ

レー、じゃこ飯など  
○お問い合わせ

横浜解放まつり実行委員会事務局  
佐賀町民館

☎55-2108

風しん抗体検査について

風しんは感染力が強く、妊婦が感染すると、赤ちゃんが障がいをもつて生まれる可能性があります。

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は、特に風しん抗体保有率が低いため感染を拡大させてしまう恐れがあります。

そのため、今年度から無料で抗体検査が受けられるようになりました。検査の結果、抗体が低い場合は予防接種も無料で受けられます。

計画的な実施のため、今年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に、クーポン券付きの案内通知を送付しています。そのほかの対象者は、来年度案内通知を送りますが、希望があれば今年度受けることができますので、左記までご連絡ください。

○お問い合わせ

本庁健康福祉課保健衛生係

☎43-2836

依存問題に関するフォーラム

アルコールや薬物、ギャンブル、また、最近問題になっている子どものインターネットゲームなどの依存問題に関するフォーラム「第6回アディクション・フォーラム 高知 子どもとの心と依存症〜育ちの中で抱える様々な生きづらさ〜」を開催します。

香川県にある三光病院の海野順先生の講演や県内の依存症治療および相談機関の取組、回復の助けとなる自助グループの活動などを紹介します。また、特別企画として薬物依存症啓発映画の上映や当日申し込みができる個別相談も行います。

依存・アディクション関連問題に関心のある方はどなたでも参加できます。参加希望の方は左記へお申し込みください(当日参加可)。

◆日時 12月15日(日)

午前10時～午後4時

◆場所

高知県公立大学法人 永国寺キヤンパス 教育研究棟1階

○お申し込み・お問い合わせ

高知県立精神保健福祉センター

☎088-821-4966